

2025年2月7日

令和6年度札幌市東区防災訓練に参加される皆様

「厳冬期災害時の避難所を想定した就寝環境と災害食に対するニーズ調査」 に関する研究協力依頼書

研究責任者

所属：札幌市立大学看護学部

氏名：鬼塚 美玲

札幌市で厳冬期に災害が発生した場合、低体温症のリスクが非常に高まります。厳冬期の避難所における低体温症対策として、就寝環境と食事の重要性が示されています。しかし、厳冬期に焦点を当てた就寝環境や災害食に関する研究や、現状の備蓄物資の適切性は評価されていません。

そこで、本研究では厳冬期災害時の避難所を想定した就寝環境と災害食に対するニーズを調査し、低体温症の防止に向けた備蓄や避難所運営の検討に向けての示唆を得たいと考えました。

つきまして、令和6年度東区防災訓練の中で、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。なお、本研究は、札幌市立大学倫理委員会の承認を得ております(No.2453-2)。

防災訓練に参加される方で、アンケート調査を希望されない方は、2025年2月21日14:30(訓練開始時刻)までに、末尾に記載の「①研究に関する問い合わせ先」までご連絡、または防災訓練当日に受付でお知らせください。アンケートに協力しない場合でも、防災訓練の参加に不利益は一切ありません。

1. 研究の目的と意義

本研究の目的は、厳冬期災害時の避難所を想定した寒冷環境下の就寝環境および災害食に対するニーズを調査し、低体温症の防止を考慮した物資の備蓄および避難所運営の検討に向けての示唆を得ることです。本研究の成果は、寒冷環境下の避難生活における就寝環境や食事の改善、備蓄物資の検討に寄与し、低体温症の防止対策の推進につながることが期待されます。

4. 研究の方法

(1) 調査日：2025年2月21日（東区防災訓練の中で実施します）

(2) 研究対象者

札幌市東区防災訓練に参加される方(16歳以上)で、以下の要件を満たす方

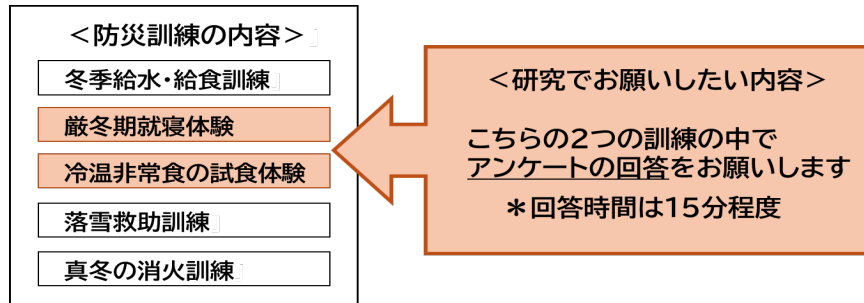
- ・寒冷環境下の活動や災害食の試食に関して、医師から注意や制限を受けていない方
- ・アレルギー特定原材料のうち、「卵・小麦・牛肉・大豆・乳」にアレルギーがない方
- ・就寝体験に関して、介助を必要としない方
- ・季節性感染症(インフルエンザ等)に罹患していない方(疑いも含む)

(3) 研究対象者として選定された理由

本研究では、札幌市や東区における現状備蓄の適切性の評価も行うため、実際の地域住民のご意見を聴取したく、研究対象に選定させていただきました。

(4) 調査方法・分析方法

東区厳冬期防災訓練の訓練項目「厳冬期就寝体験」と「冷温非常食の試食体験」の中で、アンケート(1種類)に回答していただきます。アンケートの項目は全 27 項目、回答にかかる時間は 15 分程度です。得られたデータは記述統計、質的帰納的に分析いたします。



6. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

(1) 寒冷暴露による心身の負担について

寒冷環境下の調査ですが、日常生活における通勤や外出、冬期イベントへの参加と同等の寒冷暴露です。そのため、寒冷暴露による心身への健康リスクありません。

(2) 災害食の試食に伴う負担

- ・今回試食していただく災害食には、アレルギー特定原材料の「卵・小麦・牛肉・大豆・乳」が含まれます。そのため、これらにアレルギーがある方は本研究には参加できません。
- ・「小麦」アレルギーのある方は研究参加可ですが、一部に小麦を含むものがありますので(アルファ化米の五目ごはん)、受付時と配膳時にアレルギーの有無を確認させていただき、小麦を含まない種類をお渡しいたします。
- ・6種類の災害食を試食してもらうため、試食に伴う負担が想定されますが、摂取量は感想が分かる程度(2~3口)で良く、全種類を全量摂取する必要はありません。また、非常食は市販品を提供しますので、調理に伴う食中毒のリスクもありません。

(3) 季節性感染症の感染リスク

時期的に季節性感染症が流行しているため、感染リスクはゼロではありません。そのため、受付時に体調確認を行い、症状のある方は研究参加をお断りさせていただきます。また、会場内に手指消毒薬を設置し、適宜、ドアを開放するなど、感染対策に努めます。

(4) 質問紙の回答に伴う労力・時間的拘束

時間内に調査が終わるよう、質問紙や災害食の配布、参加者の誘導方法等について事前に担当者間で打ち合わせを行い、スムーズに実施できるようにいたします。

(5) 利益

本研究に参加することで、厳冬期災害に対する防災意識の向上や備えの見直し等に繋がります。

7. 研究に同意した場合であっても随時これを撤回できる旨

研究協力のお願に関する本書面を、札幌市立大学のホームページで掲載、札幌市東区役所および防災訓練の会場で掲示させていただき、研究参加を希望しない旨の申し出がなかった場合、同意を得たこととさせていただきます。調査は無記名で行うため、アンケート用紙を回収箱に投函した後は同意撤回ができなくなることをご了承ください。

8. 研究に同意しないこと又は同意の撤回によって研究対象者等が不利益な取扱いを受けない旨
研究への協力は自由意思であり、協力の拒否や協力を中止しても不利益は一切生じません。

9. 研究に関する情報公開の方法

本研究の結果は、日本災害看護学会や日本地域看護学会などで公表する予定です。また、将来的に本研究で得られたデータを二次データとして他の研究において活用し、公表する可能性があります。

10. 研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧の方法

研究方法に関する資料をご希望される場合は、個人情報の保護や研究の独創性に触れないものに限って、いつでも対応いたします。その際は、下記の連絡先までお知らせください。

11. 個人情報等の取扱い

個人情報は研究に必要な性別と年齢のみ収集させていただきます。また、収集したデータは研究以外の目的で使用しません。

12. 情報の保管および破棄方法

全データは研究責任者の鬼塚が保管します。電子データは Microsoft 365 の OneDrive(大学から付与されているアカウント)で保管し、共同研究の市戸を共有者として設定します。紙データは札幌市立大学の研究室の鍵の書庫で保管します。データの保管期間は札幌市立大学規程により研究公表後 5 年とし、それ以降は紙データはシュレッダーで裁断して破棄、電子データは OneDrive 上で削除して消去します。

13. 研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

本研究に係る利益相反はありません。

14. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

研究に対するご質問やご意見などがある場合にはいつでも対応いたします。その際は、下記の連絡先までお願いいたします。

15. 研究対象者への謝礼

なしとさせていただきます

①本研究に対する問い合わせ先

札幌市立大学看護学部 講師 鬼塚美玲 (研究責任者)
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
メールアドレス:m.onitsuka@scu.ac.jp

札幌市立大学看護学部 助教 市戸優人
〒060-0011 札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
メールアドレス:y.ichinohe@scu.ac.jp

②倫理に関する問い合わせ先

札幌市立大学倫理委員会
〒005-0864
札幌市南区芸術の森 1 丁目
札幌市立大学事務局地域連携課
気付
電話:011-592-2346
Fax 011-592-2369